様式２別紙１－３　（No.　　）

令和　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指定研修機関番号

指定研修機関名

**特定行為研修計画の概要**

|  |
| --- |
| 区分別科目の概要（特定行為区分ごとに記載）　　　 |
| １．特定行為区分の名称（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| ２．区分別科目の到達目標の設定の有無　　　　　　有　　　　　・　　　　　無 |
| ３．区分別科目の研修方法および時間数 | 　区分別科目の時間数の総計（⑤＋⑩） |  | 時間 |
|  | １）共通して学ぶ事項について | ⑤小計(④の合計） |  | 時間 |
|  | 共通して学ぶ事項 | ①（独自の科目名がある場合は括弧書きで記入） | ②研修方法 | ③評価（上段：時間数、下段：方法を記入） | ④時間数の合計 |
|  |  | 講義（時間数） | 演習（時間数） | 実習（症例数） |
|  |  | 時間数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  | ２）特定行為ごとに学ぶ事項について | ⑩小計（⑨の合計） | 時間 |
|  | 特定行為ごとに学ぶ事項 | ⑥特定行為名（独自の科目名がある場合は括弧書きで併記） | ⑦研修方法 | ⑧評価（上段：時間数、下段：方法を記入） | ⑨時間数の合計 |
|  |  | 講義（時間数） | 演習（時間数） | 実習（症例数） |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  | 　３）症例数として含まれる実習以外の研修方法 |

備考

１　様式２別紙１－３は、特定行為研修を行おうとする全ての特定行為区分について、特定行為区分ごとに記入し、1部作成すること。

２　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「時間数」の単位については、時間で記入すること。「区分別科目の時間数の総計」は区分別科目ごとの時間数の総計を記入すること。

３　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の１）共通して学ぶ事項について、独自の科目名がある場合は①に括弧書きで記入すること。

４　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の２）特定行為ごとに学ぶ事項については⑥に特定行為名を記入すること。独自の科目名がある場合には、括弧書きで併記すること。

５　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「場所」については、自施設又は協力施設の該当する項目を選択すること（両方に該当する場合は、両方選択すること）。研修を行う場所が、指定研修機関の指定を受けようとする施設の場合は、自施設を選択すること。「自」は自施設、「協」は協力施設の意味とする。

６　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「②・⑦研修方法の実習（症例数）」については、経験すべき症例数を記入すること。

７　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「③・⑧評価」については、上段に時間数、下段に評価方法を記入すること。評価方法は、通知の別紙７に示す評価方法（筆記試験、実技試験、観察評価）を書くこと。

８　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「３）症例数として含まれる実習以外の研修方法」がある場合に、研修の方法を具体的に記載すること。通知の５.（５）②の患者に対する実技を行う実習の前に行うペーパーシミュレーション、ロールプレイ、模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習については、ここに記載すること。

９　記入欄が足りない場合は、行を追加し記入すること。なお、複数の特定行為区分の研修を行う場合や、特定行為区分の概要が複数頁にわたる場合は「（No.　）」に通し番号を記入すること。